静岡県後援イベントの活動結果
～「いかり瀬」海浜植物の観察と外来植物の抜き取り作業～

10月2日、浜名湖のいかり瀬において、県内4校の高校生等約20名に参加いただき、
在来植物（海浜植物）の解説や外来植物の抜き取り作業を行いました。
高校生等が「浜名湖の豊かな自然」や「環境保全活動の大切さ」について、深く学ぶ非常に良い機会となり、次世代の環境保全の担い手確保にも寄与する取組となりました。

【開催概要】
●名称：「いかり瀬」海浜植物の観察と外来植物の抜き取り作業
●日時：令和4年10月2日（日）8：40～12：15
●場所：いかり瀬（浜松市西区舞阪町）
●主催者：舞阪の自然を守る会（https://maisakanoshizenwomamorukai.hamazo.tv/）
●参加者：23名（高校生等13名、引率教師2名、地元企業4名、県職員4名）

【参加校一覧（申込順）】
・私立浜松学芸高校
・私立オイスカ開発教育専門学校
・私立オイスカ浜松国際高校
・静岡県立湖西高校

開会式の様子

会場には船に乗って移動

除去前の植物

除去活動中（A班：地元企業）

除去活動中（B班：学芸・湖西）

除去活動中（C班：オイスカ）

B班の生徒

C班の生徒

予定以上の外来植物を除去

参加者にインタビュー

参加者の協力により、予定以上の外来植物の除去に成功！（搬出作業も船を1便追加して実施）
専門学校生からは、将来、国際的な環境教育に携わりたいので外来植物を知れて良かった。（女性）
ボランティアに興味があり、参加した。地元の海がきれいになってすがすがしい気持ちになった。（男性）
との感想が寄せられました。